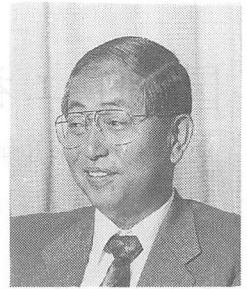


■ 論 説 ■

エネルギー・経済・環境に関する Joint IEW/JSER 国際会議開催にあたって

Joint IEW/JSER International Conference on Energy, Economy,
and Environment



IEW/JSER'96企画委員長
大阪大学工学部長

鈴木 胖

エネルギー・資源学会では1989年10月に東京で国際自動制御連盟 (IFAC) の経済および管理システム技術委員会 (EMSCOM) との共催で国際エネルギーシステム・経済シンポジウム (ESME89) を開催した。その後「エネルギー貯蔵システム」およびこれに引き続く「リサイクルの総合的推進」に関する調査研究プロジェクトで各2回の海外調査を実施するなど、国際的活動も活発に行ってきた。

本年6月には大阪でオーストリア・ウィーンにある国際応用システム分析研究所 (IIASA) およびアメリカのスタンフォード大学と共催でIEW/JSER国際コンファレンスを開催することになった。

IEW (International Energy Workshop) はこれまでIIASAとスタンフォード大学が毎年交互にIIASAすなわちウィーンとアメリカで開いてきたものであるが、この度当学会副会長でIIASAの評議会副議長を務める茅先生の紹介により、日本でも一度開いてみようということになりIEWとエネルギー・資源学会 (JSER) 共催の国際会議を開催することにしたのである。

会期は6月25日(火)～27日(木)、会場は大阪大学吹田キャンパス内に新しく建てられたコンベンションセンターである。

昨年7月に、First Announcementが出され、年末が発表申し込みの締切となった。現在までに海外から38件、国内から54件の申し込みが寄せられた。これを元に本号会告に掲載のAdvance Program Outlineが作られている。(プログラムの詳細は次号掲載の予定)

Plenary SessionはコンベンションセンターMOホール (500人収容可能)、Parallel Sessionは3つの会議室 (各120人程度収容可能) を利用して開かれる。各部屋には最新のAV設備が装備されており、勿論コンピューター画面のスクリーンへの投写も可能である。

会議の参加者は海外からの50名を加えて、350名にのぼると予想されているが会員の皆様方のさらなる積極的な参加を期待したい。